会報 54号

NPO法人 お互いさまネットワーク

２０２５年（令和７年）７月２５日発行
発行責任者　理事長　恩田初男
群馬県館林市北成島町1829-5
TEL．０２７６（７０）１３２６
FAX．０２７６（７０）１３２７
https://otagaisamaegao.net/

＝＝ 理 念 ＝＝
人とのつながりを大切にした福祉活動で、だれもが笑顔で心豊かに生活できる地域社会を目指す法人です。

＝＝ 指 針 ＝＝
① 地域の人から頼られる介護福祉サービスを提供するために成長する。
② 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
③ 地域の課題やニーズを発見し、地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。

働きやすい職場づくりに取り組む事業所認定
ぐんま介護・福祉人材育成宣言

～～～～ 令和７年度取り組みの重点 ～～～～
① 毎年の賃金改善を進めるため適正な収益を確保する
② 業務内容を見直し、効率化して利用者支援の充実を図る
③ 新規事業開始へ向けて法人体制の調整を進める

当法人の活動にご寄付ご支援をお願いします

買い物ツアー参加者募集中！

第26回 定時社員総会報告

令和６年度の活動概要および令和７年度の事業

令和７年５月１２日に正会員２３名にて第２６回定時社員総会を開催しました。令和６年度法人目標に対して報告が行われ承認されました。
①「各事業所の適正な人員配置を行いサービス向上に繋げる」については令和７年２月にグループホーム・デイサービスにおいて人員異動を行いました。
②「賃金改善後の安定した収入を確保し健全運営を図る」は令和６年４月に給与のベースアップを実施し、その上で安定収入と健全運営を目指しましたが約８４３万円の損失となり達成できませんでした。
③「運営規程等に定める職員研修を計画的に実施」は介護保険制度で定められた職員に対する法定研修を毎月の職員会議にてインターネット配信型の動画教材を用いて行いました。

令和7年度の事業計画について、下記が総会にて承認されました。
① 毎年の賃金改善を進めるため適正な収益を確保する。
② 各事業所の業務内容を見直し、効率化して利用者支援の充実を図る。
③ 新規事業開始へ向けて法人体制の調整を進める。
これに基づいて、令和7年度の新たな活動を展開します。

又、令和７年度はお互いさまネットワークの法人戦略の４年目となり、目標である新規事業の住宅型有料老人ホーム・広域型デイサービスの設置を決定し、承認されました。

全体職員会議・新人歓迎会

総会決議を受け、令和７年５月２０日に全体職員会議を開催しました。令和７年度の法人目標及び各事業所目標を確認しました。その後新人歓迎会が行われ、コロナが明けて数年ぶりに職員同士の親睦を深める機会となりました。
（会場　ニューミヤコホテル館林）

介護保険活動

ケアプラン介護相談の喜楽コラム　　ケアマネージャー水崎

介護保険証が届いたら何がわかる？～介護度とサービス利用の仕組み～
前回は、介護保険の申請について簡単にご紹介しました。今回は、申請後に届く「介護保険証」について、もう少し詳しくお話していきます。介護保険の申請をすると、おおよそ1か月半ほどでご自宅に「介護保険証」が郵送されてきます。この保険証には、ご本人の介護の状態を表し、また受けられるサービスの内容や量を決める重要な指標となる「介護度」が記載されています。介護度は、要支援1から要介護5まで分かれており、例えば…要支援1や2の方は比較的自立しており、サービスも「介護予防」に重点を置いた軽めの支援となります。一方で、要介護5になると日常生活の全てに介助が必要と判断され、ほぼ全てのサービスが利用可能になります。この介護度に応じて、介護保険証には「支給限度額」という単位数も記載されています。これは、ケアマネジャー（介護支援専門員）がケアプラン（介護サービス計画）を立てる上でとても重要な情報です。
支給限度額とは？
支給限度額とは「この範囲内なら1割～3割の自己負担でサービスが利用できる」という上限を示すものです。介護度が重くなるほど支給限度額も高く設定され、多くのサービスが使えるようになります。ただし、この支給限度額を超えてしまうと、超えた分のサービス利用料は全額（10割）自己負担となり、これでは経済的な負担が大きくなってしまいます。そのため私たちケアマネージャーは、毎月ご利用者のサービス内容を見直し、支給限度額内に収まるよう調整しています。無理なく無駄なく、そして安心してサービスを受けていただけるよう、常にバランスを考えて支援を行っています。
「毎日通って、泊まりも使いたい」…それって可能？
介護保険証が届くと、「毎日デイサービスに通いたい」「泊まりのサービスも使いたい」というご希望をいただくことがあります。もちろん、お気持ちはよくわかります。ですが、現実的にはすべてのご希望をそのまま反映するのは難しいケースもあります。なぜなら、支給限度額を超えてしまうと10割負担となり、ご本人やご家族にとって大きな負担となるからです。ケアマネとしては、希望をしっかり伺いながら、必要なサービスを優先し、無理のないプランを一緒に考えることを心がけています。

市 民 活 動

【住民相互の助け合い】支え合い活動

９月からの料金改定について、運営協議会の審査を受け一部修正することになりました。前回公表した内容と異なりますこと、紙面をお借りしてお詫び申し上げます。改めて、改定後の料金は下記の通りとなります。

①時間料金：1時間1,050円、30分550円
②乗車料金：1km180円
③回送料金：3km100円、上限400円　※迎車回送距離のみ適用
④福祉車両使用料：タント300円、セレナ500円、キャラバン700円

前版より乗車料金と回送料金が変更されています。なお、その他の料金は前版から変更ありません。実施に先駆けて、ご利用者様には個別に料金表を発送予定です。ご利用者様に負担を強いる事となり大変申し訳ありませんが、活動継続の為どうぞご理解ください。今後とも支え合い活動をよろしくお願い致します。

利用・協力会員募集中! TEL 0276-74-8286　担当坂田まで

よってこ松沼　イベント情報　月・木10時30分から　気軽にお立ち寄りください。**昼食は持ち込み。**

喫茶メニューあります
おすすめは
クリームソーダ / コーヒー / カフェオレ

午前中は 体操の時間・・・DVDを見ながら 介護予防に役立つ 筋トレ体操 を中心に ラジオ体操やみんなの体操も行います。

かき氷の季節到来！
よってこ松沼には本格的な**かき氷機**があるんです！
ふんわり　優しいかき氷ができますよ
基本のシロップ　各種・・・100円
トッピングは、持ち込み自由です
自分の練乳・あんこ・フルーツで盛り上げても可

日中の暑い時間帯は
よってこ松沼に来て過ごしましょう。
家で自分のためだけにエアコン…？
それより、仲間と元気を確かめ合って
持ってきた「おにぎり」を一緒に食べて
脳トレ、トランプ、かるたなどしませんか？

スタッフ・イベントリーダー募集中です。お問い合わせください。

グループホーム（認知症共用デイ）

あまり知られていないことですが、グループホーム喜楽では「共用デイの喜楽」も行っています。共用デイとは、グループホーム内の９人の入居者と同じ空間で行うデイサービスです。通常のデイとは異なり、より生活感があり家庭的な雰囲気の中で一日を過ごすことが出来ます。人数が少ないため知名度はあまり高くありませんが、通常の認知症デイと比較して様々なメリットがありますのでご興味のある方は担当ケアマネージャーさんにご相談の上、是非ご利用ください。

●入所の前準備に

ゆくゆくはグループホームに入所をお考えの方が、共用デイを利用し慣れていただく事で、利用者様の負担を軽減できます。

●生活リハビリ

その人に残っている力を引き出し暮らしの中で生かせるようなケアをしながら、認知症の安定とその人らしさの回復を図ります。

～ご利用条件～

- 医師により認知症と診断された方
- 要介護１～要介護５と認定された方
- 館林にお住まいの方

●安価な料金

一般の認知症デイと比べて１日の利用料が約半分と安価なので、利用時間や日数を増やしたり他のサービスと併用したり容易に行えます。

●少人数ケア

１ユニット当たり一日定員３名と少ないので、一般のデイサービスと比べて細かなケアを受けることができます。

～基本情報～

定員　　一日６名
（１ユニット３名まで）

ご利用日　月曜日～土曜日
（年末年始除く）

多機能ケアの喜楽

今回も多機能の日常の光景をお伝えします。

おやつに食べるフレンチトーストをみんなで作っている所です。

レクリエーションの紙芝居をしています。今回はごんぎつねの話に皆さん聞き入っていました。

七夕の飾り作りをしている所です。それぞれのペースで楽しんでいました。

デイサービスセンター喜楽

６月に家族会が開催されました。ご家族が多く集まり、普段なかなか聞けない話をしていただける貴重な機会です。和気あいあいとした雰囲気の中で、家での様子や困りごとなどを話し合いました。

デイサービスでは「生活リハビリ」を中心に、利用者個々の「出来ること」を大切に日々関わっています。そのひとつ昼食作りではメニュー決めから調理、盛り付けまで、利用者さんと一緒に行います。利用者さんからのリクエストも積極的に取り入れています。

季節の行事について。４月は桜のお花見をしました。昨年も来たことを覚えており、「今年も見事に咲いているね」と皆で楽しみました。7月は七夕の飾り作りです。短冊に本人やご家族から願いごとを書いていただきました。「杖で歩けるようになりたい」「いつまでも笑顔で仲良く過ごせますように…」等々それぞれの思いを込めた願いごとを飾り付けました。夏本番には、目隠しをしたスイカ割りを予定しています。

家族会の様子
家族だからこその話を相談し合える貴重な機会です。

新じゃが収穫！何にしようか?
カレー?それともコロッケ?

イモフライも美味しかったです！

地域密着デイの喜楽

３月に植えたじゃがいもを収穫しました。「じゃがいも週間」と称してカレーライスにポテトサラダ、肉じゃが、そしてポテトグラタンを昼食で作りました。ご利用者様にも皮むきを手伝ってもらったり、味付けのアドバイスも。皆さん「おいしい！」と完食されました。

ご家族が飼育されている鈴虫を１かご頂きました。皆さんと一緒にえさのナスを交換したり、かごの中の様子を眺めたりしています。暑い日が続く中、涼しさを感じる声を聞かせてくれます。

運転適性検査

６月１６日（月）、介護職員と支え合いボランティアの計２０名で運転適性検査を行いました。県警から派遣していただいた検査車に乗り込み、運転シミュレータを使った３０分ほどのテストで、自分の運転の特性を知りアドバイスを受けることが出来ます。

避難訓練

５月２４日（土）、消防署の立ち合いの元、全事業所合同の避難訓練を行いました。グループホームで夜間にコンロから火が出たという想定で、各事業所の夜勤者ら３名が協力して避難誘導に当たりました。その後は職員らで水消火器を使用した消火訓練を行いました。

BCP シミュレーション

ＢＣＰとは、企業が自然災害や感染症等の緊急事態において可能な限り事業を継続できるよう取り決めておく計画の事です。その一環として、上半期は地震・ゲリラ豪雨と言った災害を想定し、各事業所で不足する物品や対策を考えています。

実習受け入れ

お互いさまネットワークでは、館林高等看護学院や群馬社会福祉専門学校など、福祉・医療に携わる学生の実習先として各事業所を開放しています。高齢者や病気の理解だけでなく、お年寄りの生活や背景にも目を向けられるよう期待しています。